

市民のみなさんへ

—災害時要配慮者（発達障がいを持つ人）の 災害時の生きづらさを考えませんか？—

私たちは尼崎小田高等学校看護医療・健康類型の防災・減災班の有志 2 年生です。発達障がいを持つ人が平時から特に災害時には「生きづらさ」を抱え、ご本人はもちろんご家族も大変な思いをされています。今回の能登半島地震においても避難所で排除される、そもそも避難所に行くことさえためらう状況であることが報告されています。私たちは、昨年 5 月から、発達障がいを持つ人が「生きづらさ」を抱えておられるなかで、発達障がいを持つ人の特性を学び、なぜこのような行動をするのかを市民の方に啓発する劇のシナリオを作成し、多くの人に動画で見てもらおうと考えてきました。今回はその第一回目となります。私たちの劇の上映だけではなく、尼崎市手をつなぐ育成会、尼崎市難病団体連絡協議会からもお越しいただき、災害時に抱えておられる困難とどのように解決の方向を模索すればいいのかを考えたいと思います。

- ▷ 日 時： 3月21日（木） 13:00～15:00(最大)
- ▷ 場 所： 小田南生涯学習プラザ
- ▷ 主催者： 尼崎小田高等学校看護医療・健康類型
- ▷ 協 力： 尼崎市手をつなぐ育成会、尼崎市難病団体連絡協議会
- ▷ 内 容： 劇の上映（動画）、発達障がいと災害についての現状

【看護医療・健康類型】

平成25年4月1日に設置。将来、看護師を含め医療職、福祉職、スポーツ健康職に就く生徒が学ぶ。地域社会に出て、地域社会の課題を発見し、地域社会の課題解決や地域社会の活性化のために積極的に動く。現在11年目で、尼崎市市内の多くの病院で看護師や理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、保育士として活躍。

連絡先 尼崎市長洲中通 2 - 1 7 - 4 6 尼崎小田高等学校内 福田 秀志 電話 06 - 6488 - 5335